

校長 だより

～二学期もいい形でおわる～

平成23年12月21日

校長 與那覇 健勇

私の一日は、朝6時の起床からはじまります。寝室は二階なので、眠い眼で階段をおり、台所へ向かいます。ラジオをつけ、手を丹念に洗った後で、冷蔵庫から、野菜や肉など弁当の材料を流し台に並べます。・・・それから約20分後は、朝食をとっています。そのわきでは、妻が色どり豊かに、おいしそうに弁当箱に詰めてくれます。我が家では弁当を作るのが私、詰めるのが妻です。今日は二つの弁当を作り、一日が始まりました。

校門には7時に立ちます。教頭は6時55分には立っています。早朝講座の生徒を名前を呼びながら笑顔で挨拶を交わします。

8時には講座の様子や体育館・グラウンドの朝練の様子を見守り、激励をします。「今日も頑張っているね」と。

8時30分からは和やかな雰囲気の中でも時間きっかりに職員朝会が始まります。司会は1週間交代で、全先生があたります。

10時30分には授業の様々を見ます。すべての教室を見るのは30分くらいかかります。今日は二学期の最後の授業の日であるにも関わらず、どのクラスも「熱」のこもった授業が展開されていました。『何と、二学期の評価もすでに終わっているのになぜこんなにも真剣なの、・・・？どちらも』

今日も、とてもいい気分になりました。うちの学校の先生と生徒は「絆」という強い信頼関係で結ばれていること、再発見しました。・・・・・・・・・・・・・・・・

このような状況の中からでた結果が二学期の学事報告。素晴らしい。今、読高は最高によくなっていると思う。この学校の校長であることを何よりもうれしく思います。

「先生たち、そして生徒たちへ、私をここまで幸せにしてくれてありがとう。管理職手当は全部あなたたちのものです。自由に使ってください。・・・なんに使ってもいいですよ。」